

陸滿密

次官ヨリ関東軍參謀長へ

三月十日附特務部發第三四三號ニヨル滿洲
國用輕機關銃ハ陸軍造兵廠ヨリ拂下方認可
セラレシニ付直接全廠ト協議セラレ度

陸滿密第一三六號

昭和八年三月十八日

輕機關銃拂下ノ件

陸滿密

副官ヨリ陸軍造兵廠長官へ通牒

関東軍特務部通路建設班裝備用(將來滿洲國
國道局ニ交付スルモノ)トシテ別紙ノ通拂下方認可
可セラレシニ付直接貴廠へ何分ノ協議アル筈ニ
付承知セラレ度依命用通牒ス

陸滿密第一三七號

昭和八年三月十八日

0534

電送寫真第二號

陸軍省
陸軍密受第三二〇

昭和八年三月十一日

發信昭和八年三月十日午後二時
着信昭和八年三月十日午後三時四〇分

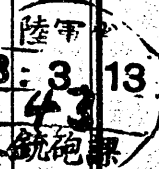
東京陸軍無線電信所通信

陸軍省大臣官房御中

件名 輕機関銃艇買入件

一部一葉

陸軍



Handwritten marks and stamps at the top of the document, including a circular seal and the characters '陸軍'.

滿洲國民安居樂業

0535

肅清亂賊先復熱省

0536

熱省人民の滿洲國

0537

熱河全省先被王道

0538

説明ターゲット

次の原稿破損

8年 8月 7日

主務者又は

撮影立会者 坂根嘉和 

アジア歴史資料センター

熱河省民有救星了


0539

説明ターゲット

次の原稿破損

8年 8月 7日

主務者又は

撮影立会者 坂根嘉和 

アジア歴史資料センター

一 在件異存ニシテ 位の海に協定あり

二 将半南洲に國道向ニ交付ス陸

鐵管取停ノ見地より之カ管理

軍印部ニ行ハシムラノトセシ

軍子海

陸軍造兵廠ヲ拂トルトテ置存

ナシ
如斯件ノ國字ニ基據テ統制課
係ニ送附スルニ致ス

0541
陸軍造兵廠ヲ拂下ケ給

軍部
銃砲課

0542

保存期限	決裁指定	決行指定
------	------	------

大臣		大臣		大臣	
局長		次官		政務次官	
主務課長		高級副官		參與官	
主務課員		主務副官		書記官	
		官房御用掛		審案	
				筆記者	
局長		局長		局長	
課長		課長		課長	
領受		領受		領受	
昭和三十八年四月十五日		昭和三十八年四月十五日		昭和三十八年四月十五日	
提出		提出		提出	
昭和三十八年四月十五日		昭和三十八年四月十五日		昭和三十八年四月十五日	
領受		領受		領受	
昭和三十八年四月十五日		昭和三十八年四月十五日		昭和三十八年四月十五日	
了結		了結		了結	
昭和三十八年四月十五日		昭和三十八年四月十五日		昭和三十八年四月十五日	
房官臣大		課局務主		件名	
				兵器借用ノ件	
				満密受第三三〇號	
				起元廳(課)名	
				陸軍造兵廠	

政務次官 回付 決裁 前連帶 後課名

決行(決裁)後 回覽課名

陸軍造兵廠長官へ指令

四月十二日附陸軍造兵廠第一八三號申請ノ通
認可ス

陸軍密第二〇五號

昭和八年四月五日

兵器貸其ノ件

副官ヨリ陸軍兵器本廠長へ通牒

別紙ノ通関東軍野戦兵器廠ニ於テ陸軍
造兵廠へ貸其方認可セラレニ付可為取
計ハレ度依命通牒ス

陸軍密第二〇五號

昭和八年四月五日

0545



至急

別紙添付

希密

三二〇

陸造 科 第一八三號

兵器借用ノ件申請

昭和八年四月十二日

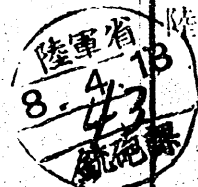
陸軍造兵廠長官

岸 本

綾 夫

陸軍大臣 荒 木 貞 夫 殿

三月十八日陸滿密第一三七號ニ據ル兵器拂下ニ充當スル爲別紙品目ヲ兵器本廠ヨリ借用致度ニ付認可セラレ度



軍

72 〇

0546

別紙

品目	数量	在庫支廠	取扱担任工廠	摘要
十一年式輕機關銃	二〇			
同 彈藥金	一六〇	関東軍		
彈匣	八〇	野戰兵器廠	東京工廠	関東軍特務部 野戰兵器廠 製造
彈囊	八〇			
實包 <small>彈子 彈殼</small>	二〇〇〇〇		火工廠	

備考

本品は全部現地ニ於テ借用数量

陸

軍